

大洲総合運動公園 将来ビジョン

施設の今後のあり方

**存続
(利活用)**

理由

- ①街中にある立地の良さを活かした複合スポーツ施設
- ②競技スポーツだけでなく生涯スポーツも楽しめる施設
- ③プロ野球も開催できる県が管理する唯一の硬式野球場

目指すべき
施設像

- ①立地の良さを活かして、誰もが気軽に安心して利用できる施設
- ②大規模な競技大会だけでなく、少人数のグループでもスポーツを楽しむことができる施設
- ③全国的なスポーツ大会も開催可能な集客が見込める施設

目指すべき
利用者像

- ①競技スポーツや生涯スポーツを楽しむ人
- ②障がいのある人や高齢者などで健康増進のため運動を行う人
- ③甲子園やプロスポーツなどを目指す学生と全国レベルのスポーツを楽しむファン

定量的目標
達成指標

- ①年間利用者数の増（現状…149,954人）
～令和13年度 188,000人／年
テニスコート利用者数の増（現状…28,251人）
～令和13年度 40,000人／年
- ②硬式野球場入場料徴収イベント日数の増
高校野球：40日／年（現状…35日／年）
その他：20日／年（新規目標設定）

定性的目標
達成指標

- ①誰もが安全・安心に利用できる、地域と共存した公園としての管理運営
- ②利用者満足度向上のため、ネット予約システムと連動したアンケートを実施

主な課題と解決策

【課題】

- ①人口減少・少子高齢化に関する課題
・高齢者から子どもまで、今後も幅広い世代の利用者を確保する必要がある。
- ②施設管理に関する課題
・施設の老朽化を放置すると、利用者の安全性の低下が懸念されるため、将来的な維持管理コスト縮減に向け、施設の長寿命化計画策定や長期維持管理指針とそれに基づく適切な時期での施設更新が必要である。

【解決策】

- ①・障がいのある人や高齢者、小さな子どもなど誰もが安心してスポーツを楽しめるよう、園路の舗装や雨よけできる休憩所の更新を行う。（令和5年度まで）
・車いすテニス利用者等の利便性向上のため、障害者用駐車施設の増設を行う。（令和13年度まで）
- ②・園内の高木剪定を行う。（毎年度）
・軟式野球場のフェンスや便所更新を行う。（令和5年度まで）
・硬式野球場の照明更新を行う。（令和7年度まで）